授業科目	臨床心理地域援助特論	担当教員	平川　忠敏

展開方法	講　義	単 位 数	2単位　選択	開設時期	前　期

【授業目標】

臨床心理学では心理査定・心理療法・環境介入が三本柱と言われている。本講義ではそのなかの環境介入についてコミュニティ心理学の立場から理論、歴史、方法論を理解し実践できるようになることを目的とする。悪いところを見つけてそこを治す、という医学モデルに対するアンチテーゼとして出現してきたコミュニティ心理学の由来を学び、コンサルテーションなどの技法を身につけることで、例えば、学校や会社や地域社会への介入を可能にする。そうして個人へのアプローチと同時にその環境にもアプローチすることによって個人も環境も適応した状態になっていくことを学ぶ。

【授業方法】

講義、介入事例、討論ですすめられる。講義の後で、先行研究の中から事例を抽出して、あたかもその研究者になりきって発表をすることで講義は進められる。

【授業計画】

環境介入についての歴史、理論、方法論を障害児への治療教育、自殺防止運動、異文化適応、地域全体の心の健康作りなどを取り上げながら解説する。

1．コミュニティ心理学出現の背景
2．ボストン会議・オースチン会議
3．コミュニティ心理学の発想の転換（1）Bloom の発想
4．　〃　〃　（2）Murrel の発想
5．コミュニティ心理学の実践―異文化適応
6．　〃　―自殺防止運動
7．　〃　―障害児の治療教育
8．　〃　―緩和ケア
9．　〃　―いのちの尊さを学ぶ学校教育
10．　〃　―フェミニストアプローチ
11．　〃　―学校臨床
12．　〃　―犯罪被害者支援
13．　〃　―災害支援
14．　〃　―産業部門
15．　〃　―病院臨床

【評価方法】

出席点、発表内容、討論への参加を総合して評価する

【教科書・参考書】

教 科 書　植村　勝彦　他編「よくわかるコミュニティ心理学」ミネルヴァ書房　2006
参 考 書　山本和郎他編著　「臨床・コミュニティ心理学」　ミネルヴァ書房
　　松原達也他編　「心のケアのためのカウンセリング大事典」　培風館

【学生に期待すること】

軽快なフットワークと綿密なネットワークと少々のヘッドワーク。予習として参考書を読んでくること、復習として抗議の内容を機会をとらえて実践すること。